



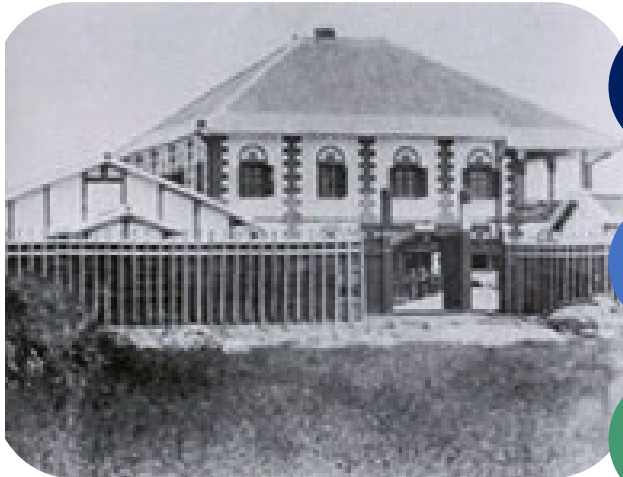
KOBE UNIVERSITY

医学部医学科 学校推薦型選抜（地域特別枠） ガイダンス



■神戸大学医学部の歴史

1869年の創設以来、150年以上、優れた医師・研究者を輩出し続けています。



神戸病院の洋風建築（明治2年）

1869年（明治2年）
神戸病院

1882年（明治15年）
兵庫県立神戸医学校

1944年（昭和19年）
兵庫県立医学専門学校

1964年（昭和39年）
神戸大学医学部（国立移管）

2010年（平成22年）
地域特別枠開設

2014年（平成26年）
医学部附属地域医療活性化センター設置



神戸大学医学部附属病院（現在）



ノーベル生理学・医学賞
山中伸弥博士

■神戸大学医学部の使命



高い倫理観を有し高度な
専門知識・技能をもつ
医師の養成



科学者の視点をもつ医師と
生命科学・医学の研究者の
育成（研究医physician scientist）

未来の医療を支える
医師・医学研究者を育成



広い視野と国内外で
活躍できる人材



地域医療充実への貢献

■学校推薦型選抜(地域特別枠)で 求める学生像



1

兵庫県の医師修学資金制度の理解、兵庫県のへき地
(医師不足地域等)の医療を担う強い意志

2

誠実かつ勤勉で、
医師にふさわしい人間性

3

生命科学と医学に
強い興味

4

基礎学力

5

協調性、
問題解決能力

6

国際的視野

一般選抜・
総合型選抜
と同じ

■ 学校推薦型選抜(地域特別枠)の目的と 医師修学資金制度

1. 実施目的

兵庫県の医療の継続が困難な地域において医師として貢献するなど、将来の兵庫県における医療を担う人材を兵庫県と連携して育てる。

2. 兵庫県の医師修学資金制度の概要

当該学校推薦型選抜による入学者全員に対して、兵庫県が学費、生活費など修学に必要な経費を貸し付ける。

■学校推薦型選抜の募集人員（10名）

※文部科学省への申請との関係で変更する場合があります

平成22年度	3名
平成23年度	5名
平成24年度	8名
平成25年度～	<u>10名</u>

学校推薦型選抜(地域特別枠)
医学部医学科[学生募集要項](#)を参照

■学校推薦型選抜の出願要件（1）

- ① 高等学校長が責任をもって推薦でき、
合格した場合は入学を確約できる者
- ② 兵庫県の医師修学資金を受給し、卒業後は
兵庫県が指定する医療機関で従事する者
- ③ 調査書 4.3 以上

■学校推薦型選抜の出願要件（2）

次のいずれかに該当する者

- ①兵庫県内に所在する高等学校等を令和7年4月以降に卒業した者又は令和9年3月に卒業見込みの者
- ②兵庫県外に所在する高等学校等を令和7年4月以降に卒業した者又は令和9年3月に卒業見込みの者であって、出願時において本人または保護者のいずれかが3年以上継続して兵庫県に在住している者

*現役又は1浪のみ出願可能（2浪は不可）

■ 学校推薦型選抜の出願要件 (3)

2027(令和9)年度大学入学共通テストの 次の6教科8科目を受験する者

- 国語:「国語」
- 地歴・公民:「地理総合, 地理探究」「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「公共, 倫理」「公共, 政治・経済」から1科目
- 数学:「数Ⅰ, 数A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」の2科目
- 理科:「物理」「化学」「生物」から2科目
- 外国語:「英語」(リーディングとリスニング)
- 情報:「情報Ⅰ」

■学校推薦型選抜の推薦人員

1 校あたり 2 名以内

■学校推薦型選抜の出願手続（1）

1. 出願期間：2027(令和9)年1月13日(水)から
(予定) 2027(令和9)年1月20日(水)まで

2. 出願に必要な書類

- ① 入学願書
- ② 大学入学共通テスト成績請求票
- ③ 調査書
- ④ 推薦書：高等学校長
- ⑤ 志望理由書
- ⑥～⑨ 略 詳細は募集要項を確認

■学校推薦型選抜の出願手続（2）

住民票等

兵庫県外に所在する高等学校等を卒業（見込）の者は、住民票等の提出が必要となります。

県養成医師同意書

「県の貸し付ける修学資金を受給し、卒業後には指定された医療機関に従事することが確約できる」ことが出願要件となりますので、「県養成医師同意書」の提出が必要となります。

■ 学校推薦型選抜の入学者選抜方法

- 選抜方法： 推薦書、調査書、志望理由書、面接・口述試験、
大学入学共通テストの成績を総合して行う
- 出願者が募集人員の約2倍を超えた場合、共通テストの成績と
書類審査(調査書、推薦書、志望理由書)により第1次選抜を行う
- 配点 (満点1225点)
 - (1) 共通テスト： 825点
国語150点、地歴・公民 50点、数学200点、理科200点、
外国語200点、情報25点 (外国語は、リーディング(100点満点)
を160点満点、 リスニング(100点満点)を40点満点に換算)
 - (2) 書類審査： 100点
 - (3) 面接・口述試験： 300点

■ 学校推薦型選抜の入学試験状況

年度	募集人員	性別	志願者数	受験者数	合格者数
令和6年度	10	男	23	15	7
		女	17	5	3
		計	40	20	10
令和7年度	10	男	15	8	6
		女	16	12	4
		計	31	20	10
令和8年度	10	男	15	14	5
		女	14	6	5
		計	29	20	10

■神戸大学カリキュラムの特色

1



基礎・臨床 融合的科目

基礎科学の知識や方法論
に基づく臨床医学の深い
理解を促す教育

2



研究医養成 プログラム

6年間を通じてじっくりと
研究マインドを育む

3



順序だった臨床 教育プログラム

6年間を通じた体系的な
カリキュラム

4



医学英語教育

ハワイ語学医学英語研修
などの充実した教育

5



6年一貫の 地域医療教育

地域医療の6年間一貫教
育を構築

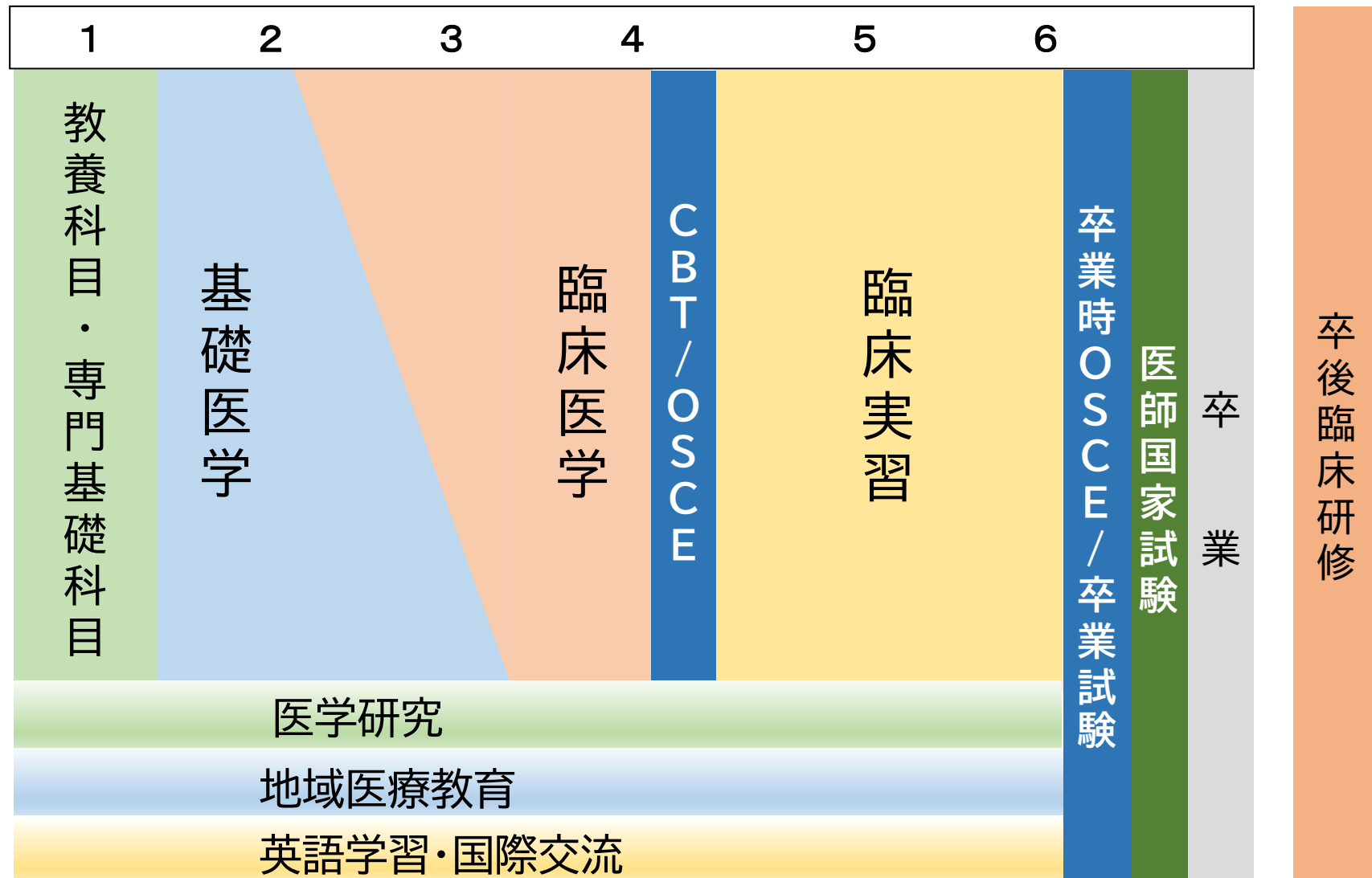
6



国際交流 プログラム

海外研修・海外実習など
国際交流プログラムを
実施

■ 医学部6年間のカリキュラムの概要



■研究医養成プログラム



新医学研究
コース
(1年次)

基礎配属実習1・2
(2年次)

医学研究1・2・3・4
(3・4・5・6年次)

じっくりと研究マインドを育む

臨床研修・大学院・研究医

■ 充実した医学英語教育

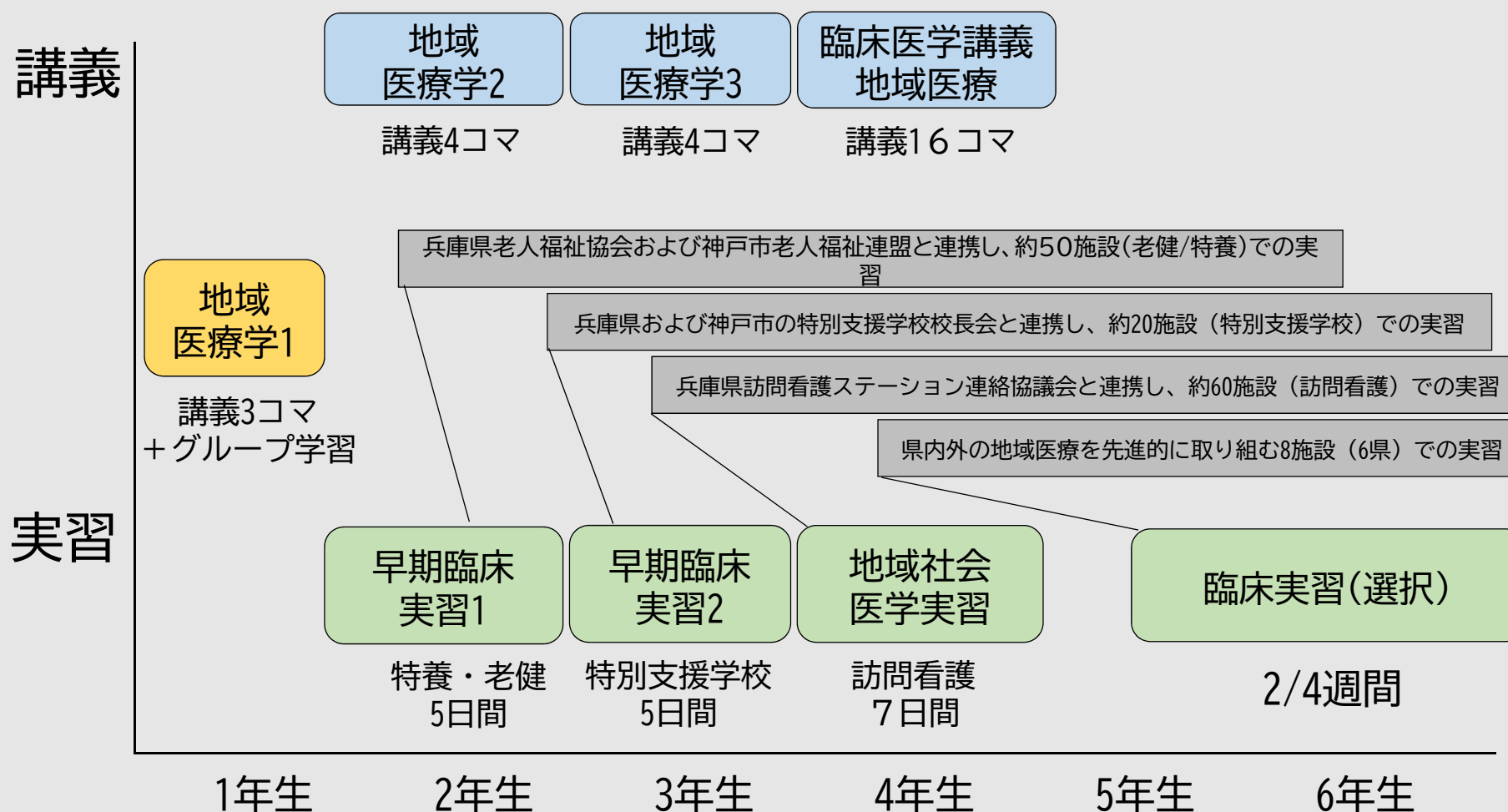


発展的学習 ハワイ語学医学英語研修 5年次 8月1週間

ハワイの現役医師による講義、ハワイ大学医学部生を患者役にした英語での問診練習、
ハワイの日本人実習生の討論

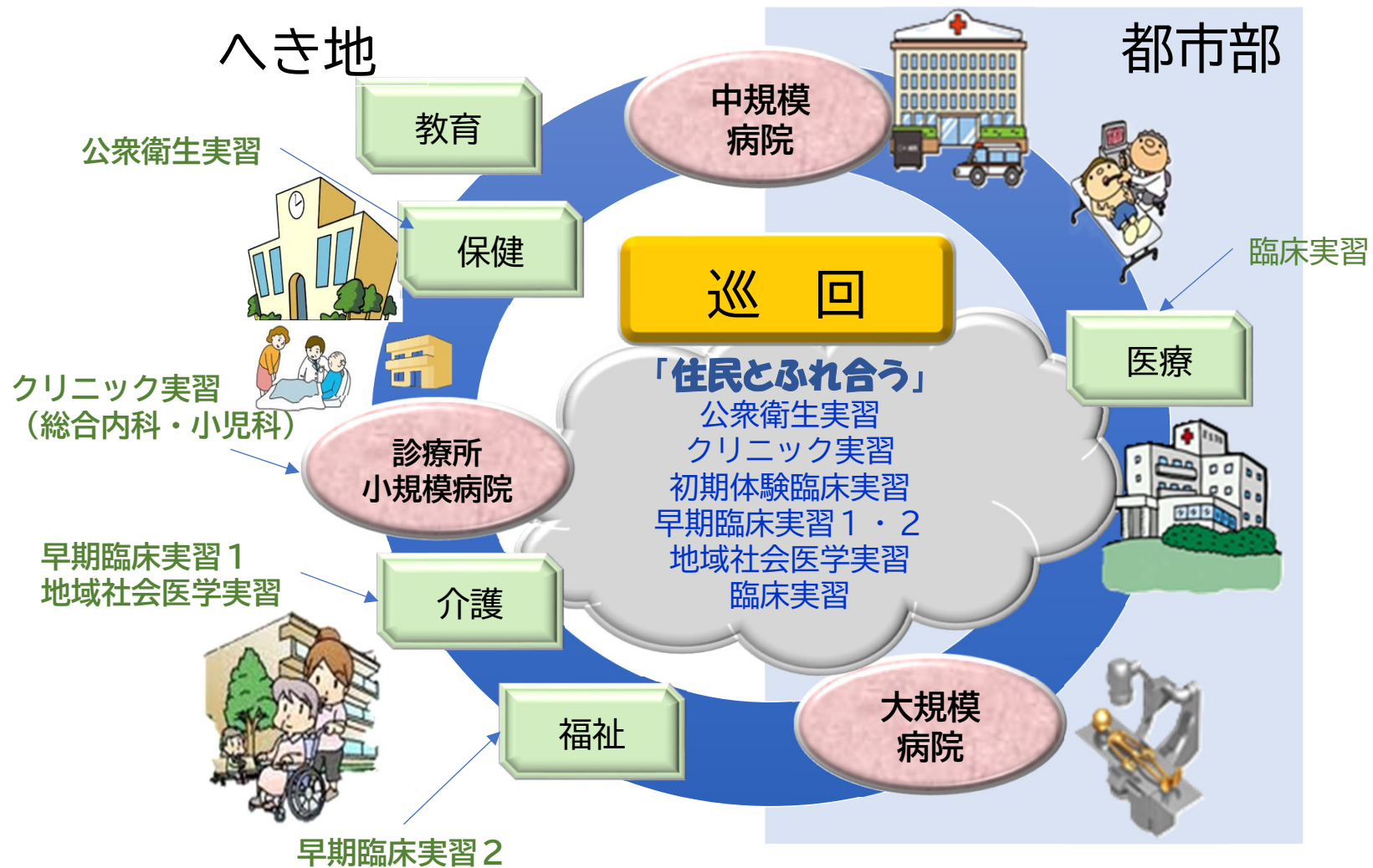
■神戸大学医学科での地域医療教育

新カリキュラムにて、地域医療の6年間一貫教育を構築



6年一貫の地域医療教育

社会循環型地域医療教育・実習システム



地域包括ケアを学ぶ・体験する

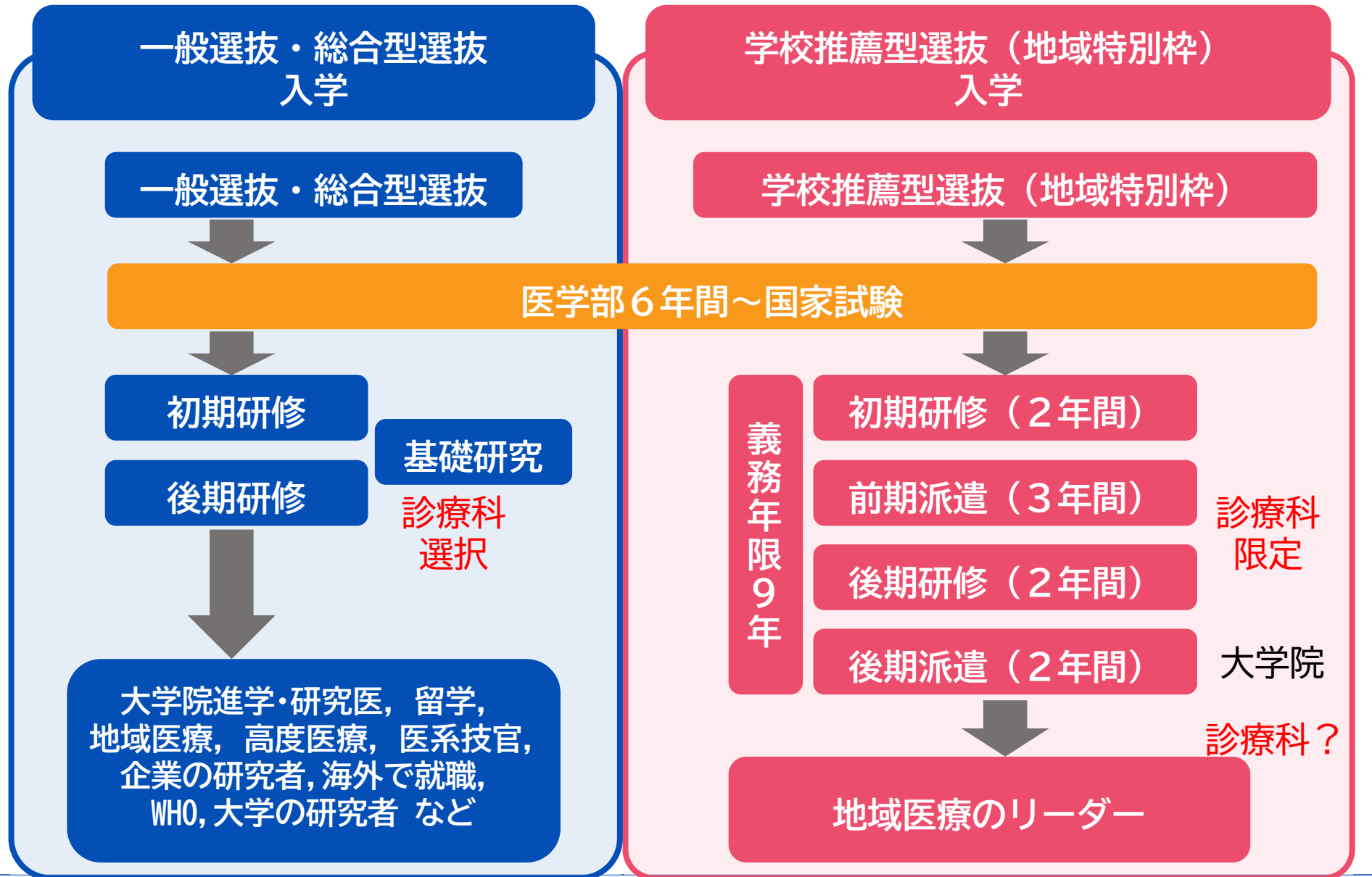
■神戸大学医学部医学科

- 一般選抜 93名
 - 総合型選抜 10名
-
- 学校推薦型選抜 10名

学校推薦型選抜 (地域特別枠) = 兵庫県養成医師 医学生

※定員は文部科学省への申請との関係で、変更する場合あり

■ キャリアパスの違い



■兵庫県養成医師のミッション



医師の地域偏在の
解消に貢献する。
(へき地勤務)



地域医療の
スペシャリスト・
リーダーになる。



住民の期待に
応えて地域社会を
けん引する。

【注意事項】

- 卒後9年間の勤務地と専攻できる診療科には一部に制限があり、県内の医療事情および県の医療政策の影響を受けます。
- 万一、自己都合で契約解除（離脱）をした場合、その後の進路において一部に制限を受ける可能性があります。

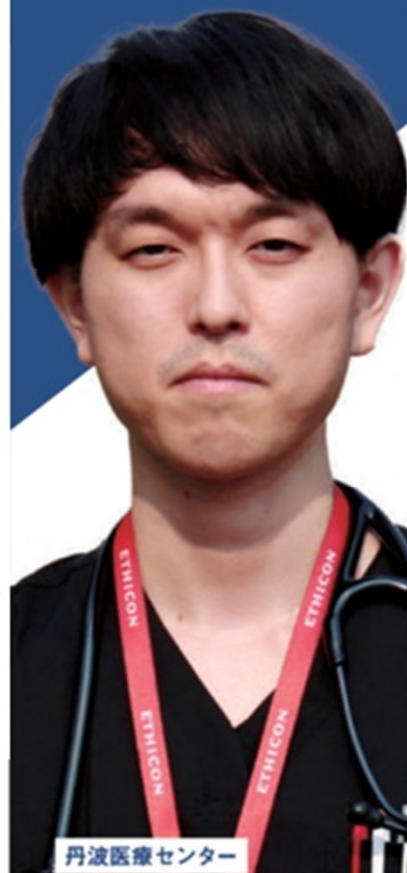
「私たちが頼れるのはこの病院しかないから」。
そんな患者さんがいる地域で、必要とされる医療を。

- 兵庫県 地域医療支援医師 修学資金制度案内 -



神戸大学

無二の『インフラ』、という自覚。



丹波医療センター

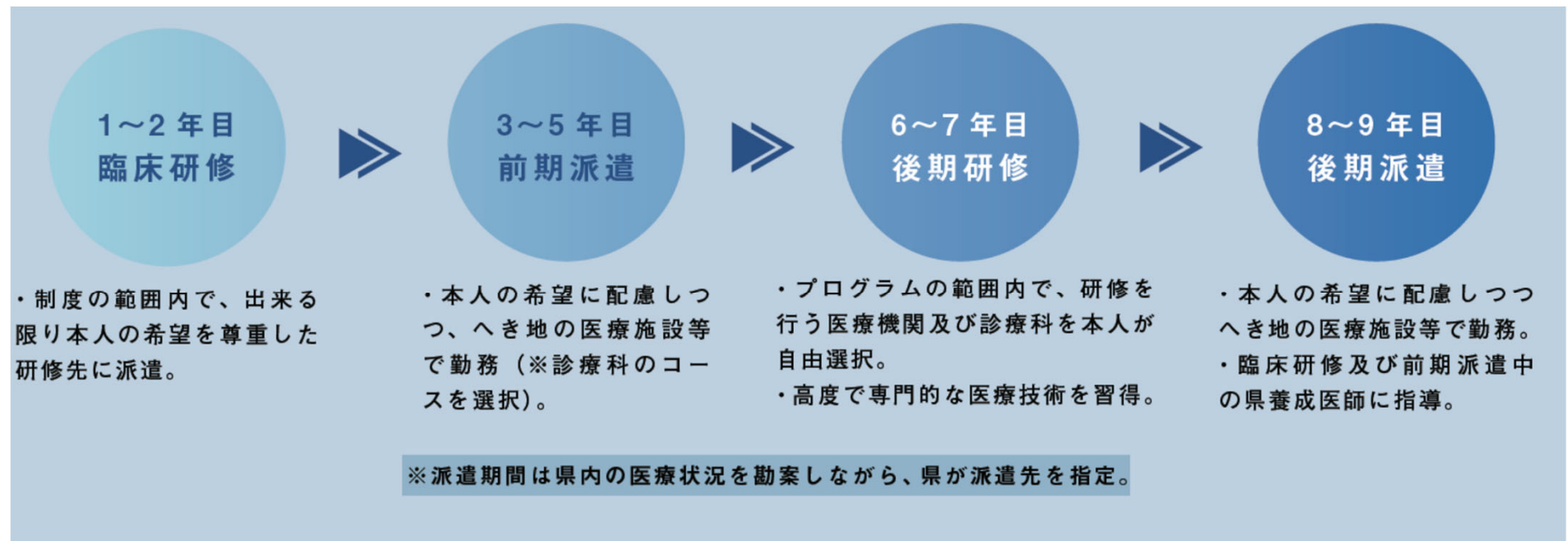
医学生時代、修学金が精神の支えに。



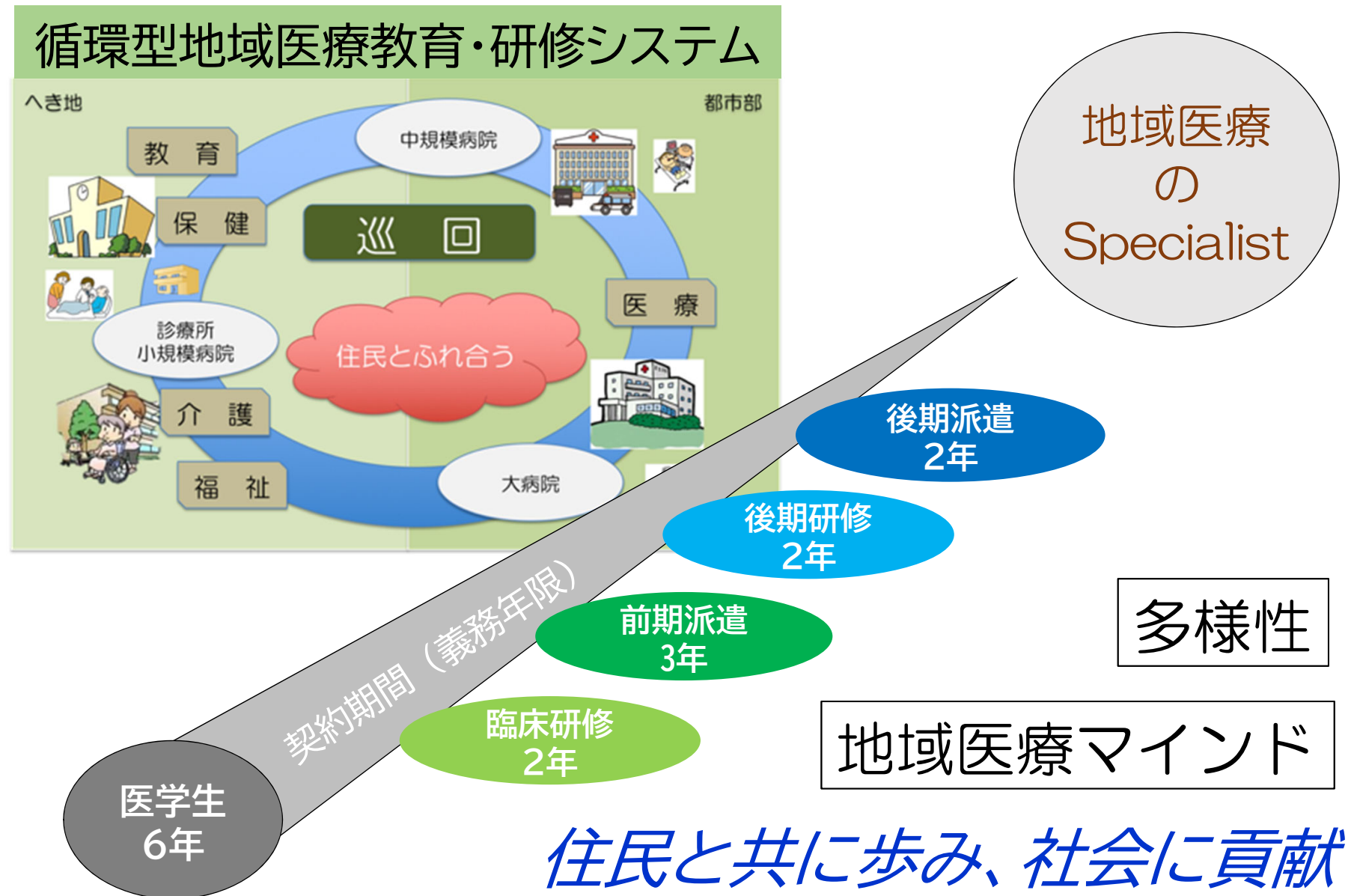
丹波医療センター

子育てへの応援がある。勇気が出る。

■卒業後の勤務形態



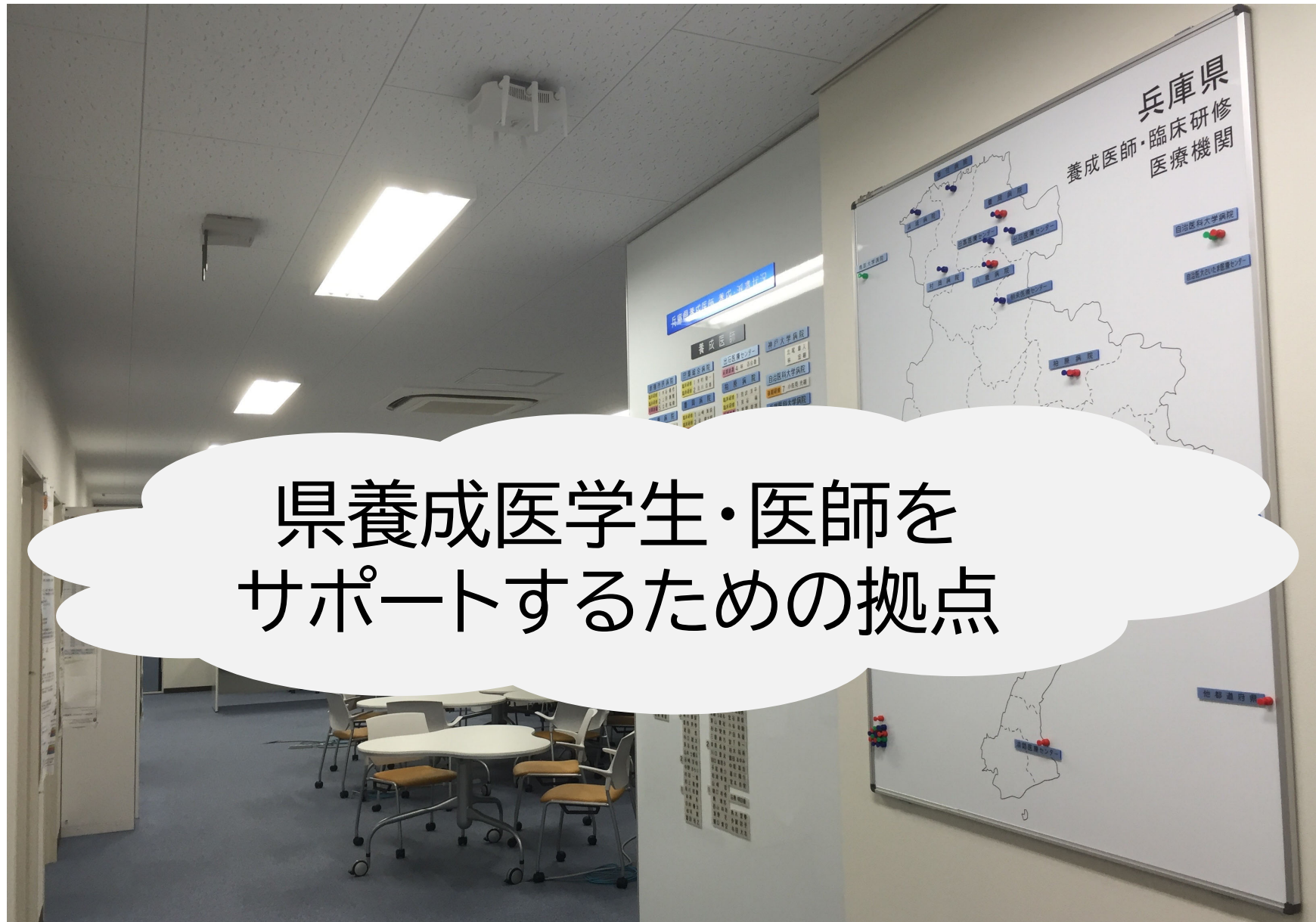
■兵庫県養成医師のキャリアパス



■兵庫県養成医師の研修及び派遣

区 分		派遣先等	内 容
1～2	臨床研修	県内臨床研修指定病院 ・へき地医療拠点病院 ・神戸大学、兵庫医科大学	・へき地医療に関わりがある病院でプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得
3～5	前期派遣 (へき地)	県内へき地拠点機関 ・へき地医療拠点病院 ・へき地市町立医療機関	希望専門科を考慮した派遣先病院の選定 ・指導医がおり、研修環境の整った病院で地域医療支援並びに専門能力の獲得 ・週1回の研修機会を確保
6～7	後期研修	県内高度医療機関 ・県立公立公的医療機関 ・養成医師委託5大学病院	本人の希望を優先した研修先病院の選定
8～9	後期派遣 (へき地)	県内へき地拠点機関 ・へき地医療拠点病院 ・へき地市町立医療機関	後期研修成果を活かしたへき地小規模市町立医療機関の支援 ・週1回の研修機会を確保 ・後期研修で上記診療科以外を選択した者は、内科勤務

■県養成医学生・医師ユニット



■地域医療体験ツアー

地域枠学生など「そよかせ診療所・はるかせ診療所」を訪問

5月上旬



■ 地域医療先進地域見学ツアー

【目的】 地域医療・包括ケアシステムを先進的に取り組む施設・
地域の見学を通して、地域医療に対する理解を深める

長野県（佐久総合病院 小海分院、小海診療所）



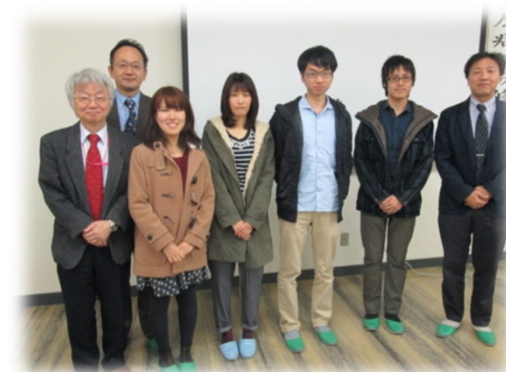
■地域医療健康講話ツアー

【目的】地域住民との対話を通して、地域医療マインドの向上を図る
丹波市、丹波医療センター、地域医療支援学部門と連携して実施



地区住民への
健康教室

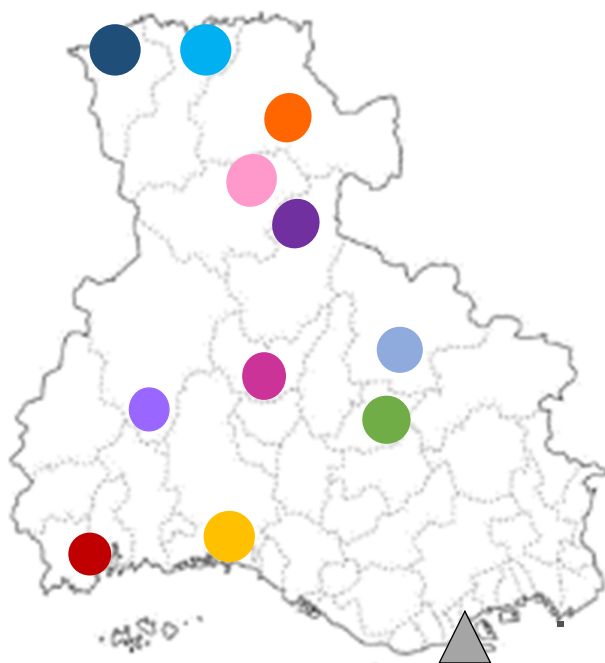
丹波医療センター
医学科・保健学科



■地域医療夏季セミナー

地域医療夏季セミナー in ひょうご 「11の地域を体感で繋ぐ」

地域枠等医学生が対象



地域医療活性化センター
地域医療支援センター



新温泉町
(公立浜坂病院)

豊岡市
(公立豊岡病院 等)

香美町
(公立香住病院)

神河町
(神崎総合病院)

朝来市 (公立豊岡病院
組合立朝来医療センター)

姫路市 (はりま姫路
総合医療センター)

丹波市
(県立丹波医療センター)

赤穂市
(赤穂市民病院)

西脇市
(市立西脇病院)

養父市
(公立八鹿病院)

宍粟市
(公立宍粟総合病院)

■兵庫県養成医師キャリア支援

臨床研修・派遣養成医師の現地訪問

キャリア形成支援のための研修会

臨床研修・派遣養成医師との面談

県養成医への技術(超音波検査)研修

養成医師臨床研修指定病院・研修内容説明会

養成医師男女共同参画研修会

県養成医への技術(内視鏡検査)研修

県養成医への技術(侵襲的処置)研修



ご静聴ありがとうございました

